

2025 年 5 月 13 日

**日本農薬株式会社と理化学研究所の共同研究による
高付加価値化合物の
生産技術開発に関するお知らせ**

日本農薬株式会社（以下「日本農薬」）は、国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センターの高橋俊二ユニットリーダーとのオープンイノベーションにより、天然物由来の原料から合成生物学を用いた高付加価値化合物生産の技術開発に取り組んでおります。本取り組みに一定の進捗が得られ、この度、事業化に資する特許を出願いたしましたのでお知らせいたします。

この技術は、持続可能な資源利用と環境負荷の低減を目指し、天然物由来の原料を用い、均質かつ安定的な化学合成と特異的な構造変換を触媒可能な酵素の得意分野を組み合わせる事により高付加価値化合物を生産するものです。特に、構造が複雑で化学合成が難しい希少な化合物を効率的に生産できる点が特長です。中期経営計画「Growing Global for Sustainability (GGS)」でお示ししている通り、まずは香料や化粧品分野での事業化を目指します。将来、作物保護資材や医薬品原料等、様々な分野への展開を想定し技術開発を進めて参ります。

昨今、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄の社会から、資源を効率的に利用し、環境負荷を低減する循環型社会への転換が求められています。そのような状況下、日本農薬は天然物利用技術を提供することにより、社会課題解決と経済成長との両立を実現し、SDGsの目標である持続可能な社会と地球環境の保全に貢献することを目指します。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

日本農薬株式会社 総務・法務部 総務広報グループ

Tel : 0570-09-1177